

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成30年6月14日 (2018.6.14)

【公開番号】特開2018-65245(P2018-65245A)

【公開日】平成30年4月26日 (2018.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2018-016

【出願番号】特願2017-218568(P2017-218568)

【国際特許分類】

B 2 4 D 3/00 (2006.01)

C 0 9 K 3/14 (2006.01)

【 F I 】

B 2 4 D 3/00 3 3 0 E

B 2 4 D 3/00 3 2 0 A

C 0 9 K 3/14 5 5 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月22日 (2018.3.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの主面が平面をなす薄型の成形研磨粒子であって、アルファアルミナを含み、前記平面に垂直に切断した断面における前記成形研磨粒子の断面形状が、略 n 角形状を有し、

前記断面において、n 本の直線を、対応する前記略 n 角形状の n 個の各辺のそれぞれと交差せずに 2 点において外側から接するように配置して、前記断面形状を囲む n 角形を形成し、前記断面形状の面積を A、前記直線がなす n 角形の面積を B とするとき、A に対する (B - A) の割合が、15% ~ 5% である、成形研磨粒子。

【請求項 2】

前記平面が略多角形をなし、前記略多角形の角部の平均先端半径が 75 マイクロメートル未満である、請求項 1 に記載の成形研磨粒子。

【請求項 3】

前記平面に接続された側壁を有し、前記平面と前記側壁との間の抜き勾配が 90 度より大きく 135 度以下である、請求項 1 または 2 に記載の成形研磨粒子。

【請求項 4】

前記平面が略三角形をなす、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の成形研磨粒子。